



# ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ

## 全曲集中鑑賞シリーズ

### 第4回 ソナタ 7番、8番

### 《アレキサンダー・ソナタ》

ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタは《第6番》、《第7番》、《第8番》のセットでモーツァルトの影響を脱し、ヴァイオリンとピアノが全く平等に扱われた元祖的存在と考えられます。2つの楽器はお互いを補い合うように音楽を発展させていきます。とは言え、まだ幾分ピアノが優先して進めています。

18世紀や19世紀の頃の作曲法理論では、ハ短調の場合は“悲劇、大きな不幸、英雄の死”と言った調性には性格があると考えられていました。同時期に作曲された《悲愴ソナタ》、《弦楽三重奏》、《ピアノ協奏曲》はハ短調で、難聴の深刻化で動揺しているベートーヴェンの心と同調しているように思われます。

これらの作曲中だった1802年10月に『ハイリゲンシュタットの遺書』があります。その切羽詰まったどうしようもなさが表出している《第7番》、調和を整える《第8番》は《交響曲第7番》と《同第8番》の関係に似ています。

#### ヴァイオリン・ソナタ 第7番 ハ短調 作品30-2 (1802年作)

この曲は交響曲第5番《運命》やピアノ・ソナタ第8番《悲愴》と同じく、ベートーヴェンにとって運命的な《ハ短調》で書かれている。内面の葛藤やヒロイックな感情の起伏がモザイクのように組み合わせられた、いかにもベートーヴェンらしい悲痛さと雄大さを併せ持つ堂々たる作品。

#### 1楽章 アレグロ・コン・ブリオ 輝きをもって速く 7:41

劇的で充実している。音量効果は抜群で、ピアノの名手だったベートーヴェンの面目躍如。ピアノの楽器としての発達は、リズムやメロディーが第一だった、それまでのピアノ音楽に音量効果で聴衆を魅了する新しい書法をベートーヴェンに創出させた。音楽面では再現部前にコラール風の部分が登場しているのは注目される。

#### 2楽章 アダージョ・カンタービレ 緩やかに歌うがごとく 8:46

首尾一貫して穏やかな感情が溢れ出ており、悲愴ソナタのアダージョ楽章を凌ぐ旋律美。ピアノとヴァイオリンの掛け合いは牧歌的で様々な変化をして歌謡風な音楽を退屈させない工夫を見せている。

# 五福蓄音器の会

**3楽章 スケルツォ：アレグロ 快活に 3:16**

付点リズムのピアノの主題をヴァイオリンが追いかける。重音と開放弦でユーモアといたずらっぽさを引き立てる効果を出している。

**4楽章 フィナーレ：アレグロ～プレスト 快活に～急速に 5:10**

最終楽章では、苦悩と恐怖の緋い交ぜの感情が暴走します。叩きつける冒頭のピアノの主題のあと、ヴァイオリンが息もつけないほど加速する。流麗な主題と活気ある主題が登場しながら、全楽章は不安感の余韻を残し豪快に締めくくられる。

録音：1936（昭和11）年2月6日 ロンドン・アビーロード・スタジオ3

**ヴァイオリン・ソナタ 第8番 ト長調 作品30-3（1802年作）**

ロシア皇帝アレクサンドル1世に献呈された《アレキサンダー・ソナタ》の締めくくり。第6番以来の連作として、深刻な第7番とのバランスを取られている曲想は明瞭簡潔。耳の病は大きなストレスだっただろうに、苦にもせずただ笑顔で笑っている。

この曲の何の銜いもなく、聴く者の心の奥底にストレートに入り込んでくる澄み切った美しさは、音楽を聴く本質的な喜びを味わうことが出来る。肩の力を抜いて挑むというのはこういうことか。溢れんばかりの楽想と構成力と努力の持続力は類まれ。

明るくそして愛らしいこの作品は室内楽の華やかさが特徴で、技術上の負担が少ないことから演奏機会は多い。

**1楽章 アレグロ・アッサイ 非常に速く 4:11**

簡潔でわかりやすい音楽。純粹に音楽的に楽しめる。第9番《クロイツェル》にはドラマが背景に有り、理解を深めるにはそうした知識が必要になってきます。ヴァイオリン・ソナタの殆どは《交響曲第1番》と《第2番》の間に集中して作曲されています。この《第8番》は、ベートーヴェンの初期のスタイルを昇華させた音楽と言えます。

**2楽章 テンポ・ディ・メヌエット、****マ・モルト・モデラート・エ・グラツィオーソ 上品に優雅なメヌエット 7:04**

ピアノとヴァイオリンが静かに踊っているように、主題を交互に奏でる。

**3楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ はなはだ急速に 3:12**

ロンド形式。活気に満ちた律動的な楽章。《熊のダンス》とも呼ばれる。

演奏 ヴァイオリン：フリッツ・クライスラー、ピアノ：フランツ・ルツプ

録音：1936（昭和11）年2月5～6日 ロンドン・アビーロード・スタジオ3

PC,タブレット、スマホでご覧いただけます。動画、試聴もできます。

**インターネット・ホームページ、ブログ**

武者がえし <http://amadeusrecord.net/>

ふるまち蓄音記 <http://amadeusrecord.info/>

蓄音器を楽しむ会 <http://spconcert.otemo-yan.net>